

大崎地域を世界農業遺産へ vol.22

大崎耕土の知恵のつながり①「民間信仰」

大崎地域では、水や農耕の神に感謝し、大自然の抗えない力を享受し、敬う民間信仰が残されています。民間信仰は、「やませ」による冷害、洪水、渇水という気象災害が頻発する厳しい自然環境で、人々が生きるための心のよりどころとして生じたと考えられます。これが巧みな水管理の技術や営農を精神的に支えてきたと言っても過言ではないでしょう。

大崎耕土を代表する民間信仰に、奥羽山脈を連ねる船形山の農耕神(山神・田の神)を祀る「船形山信仰」があります。農耕神は、春の田植え前に山から水田に降りてきて、秋の収穫後に水田から山へ帰っていくと言われ、水と実りの恵みは神の往来がもたらすものと信じられてきました。船形山信仰は、船形山から湧き出る鳴瀬川だけではなく、江合川の下流域まで広く信仰されている点に特徴があります。

また、水田に降りてきた農耕神を敬う「田の神信仰」では、個々の農家が田植え前に水田にお神酒を注いで手を合わせたり、水田の水口に幣束を立てたりして、豊作を祈っています。

さらに、巧みな水管理の源である江合川や鳴瀬川の流域においては、川の豊かな水の恵みと水災害の安全に祈りをささげる「水神信仰」も伝えられてきました。地域内の神社や道の傍らに祀られている石碑などが、それを物語っています。

民間信仰は人々の日常生活の中で守り続けられ、現在まで伝えられています。



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp



▲ 船形山信仰の石碑



▲ 水神信仰



▲ 田の神信仰

6月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,101	+ 42	39,631	- 13	77,732	+ 29	30,920
松山	3,004	- 8	3,172	+ 2	6,176	- 6	2,201
三本木	3,977	+ 3	4,022	+ 5	7,999	+ 8	2,690
鹿島台	5,859	- 8	6,253	- 10	12,112	- 18	4,558
岩出山	5,404	- 15	5,709	- 15	11,113	- 30	4,202
鳴子温泉	2,991	- 7	3,339	- 17	6,330	- 24	2,798
田尻	5,525	- 9	5,678	+ 1	11,203	- 8	3,591
市全体	64,861	- 2	67,804	- 47	132,665	- 49	50,960

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

今月の納税

納期限: 7月31日(月)

□ 軽自動車税	—
☑ 固定資産税・都市計画税	第2期
□ 市県民税	—
☑ 国民健康保険税	第3期
☑ 介護保険料	第3期
☑ 後期高齢者医療保険料	第1期
□ 個人事業税	—

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

火災発生件数

(5月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	11件	- 8
林野火災	0件	- 1
車両火災	3件	0
その他火災	5件	- 7
合計	19件	- 16

空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

6月19日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.04	0.05
松山総合支所	0.04	0.04
三本木総合支所	0.04	0.04
鹿島台総合支所	0.04	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.06

交通死亡事故件数

(6月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	2件	+ 1
死亡者数	2人	+ 1

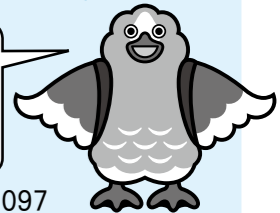
☎ 防災安全課 消防担当・交通防犯担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

7月号の主な内容

- ④ 新図書館が古川駅前にオープンします
- ⑩ 市政トピックス 6月の主な出来事
- ⑪ 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- ⑫ オオサキプレイガイド
- ⑬ 今月のお知らせ 市職員を募集します ほか
- ⑳ 子育て支援情報
- ㉑ 育児相談・乳幼児健診
- ㉒ 休日当番医 ほか

ピタ崎さんの観光ひとくちメモ

その12
観光は地方創生の切り札になるよ!



☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

今回は、大崎市が観光に力を入れている理由を、一緒に考えてみよう!

観光ってというと、観光スポットやグルメがまっさきに思い浮かぶよね。おいしいグルメひとつを例にとっても、飲食店や流通業者、食材の生産者など、いろいろな人たちが関わって、ぼくたちに感動が提供されているよ。目に見えないところで、たくさん分野に経済波及効果があるんだ。

観光を楽しむ人が増えれば、そこから新しい産業や雇用が生まれたり、移住者が増えたりするかも。そうすれば、地域はますます元気になるし、ぼくたち市民も、大崎市に愛着や誇りを今以上に持てるよね。

観光が地方創生の切り札と言われているのは、そのためなんだ。大崎市全体で観光を盛り上げれば、ぼくたち市民の暮らしが、経済的にも精神的にも豊かさを実感できるようになまちづくりにつながっていくね。

市長コラム

天地人

「横綱」入府する!

先般、大崎市観光大使「おおさき宝大使」の第69代横綱白鵬関が、前人未到の38回全勝優勝の凱旋報告にご来訪いただきました。

子どもたちや市民との交流、モンゴルからの農業研修生事業の候補地訪問、大崎市の観光ポスター撮影などを精力的に廻っていたいただきました。

横綱白鵬関・宮城野部屋との交流は、6年間続いています。東日本大震災での二次避難受け入れの鳴子温泉に慰問・激励いただいたご縁で、大使にご就任後、毎年ご来訪され、復興支援や子どもたちとの交流、ちゃんご交流などを続けていただいております。

昨年、市制誕生10周年記念事業におきまして、大相撲大崎場所の実現にご尽力いただきました。市民病院や池月道の駅に優勝額のご寄贈も賜りました。

さらに、この度光栄なことですが、権威ある「横綱」の贈呈を受けました。

横綱は、大相撲の力士の最高位の称号であり、横綱だけが腰に締めることが許されている白麻製の綱の名称に由来します。横綱の土俵入りは大地を鎮め、邪悪を祓い、豊作や健康を招く神事でもあります。

72代続く横綱の中でも、白鵬関は江戸時代の仙台出身である横綱谷風関や、69連勝の偉業を成し遂げた双葉山関・巨人・大鵬・卵焼きと慕われた大鵬関と並び、日本相撲史に燦然と輝く大横綱であります。

その大横綱から、この度権威ある「横綱」を拝受した大崎市は、まちづくりの「横綱」をめざして日々精進、邁進していかねばなりません。

横綱白鵬関におかれましては、相撲道の真髄を極められ、今後相撲界の発展を祈念いたします。

大崎市長 伊藤 康志

